

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

- ： 受講必須
- ◇

： 受講任意
- ： 基礎的な内容
- ： 応用的な内容も含む

オンデマンド講義

視聴時間約4.7時間

※受講必須のみの場合

リアルタイム研修

概要	単元名			分
災害対応業務全般	1	防災行政概要	◇	20分
	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	◇	15分
	3	防災計画の概要	◇	16分
	4	地域の災害特性	●	30分
応援・受援の基礎知識	5	受援体制と受援計画の概要	●	15分
	6	地方公共団体間の相互応援と受援体制	●	130分
受援対象業務の概要	7	避難所の開設・運営の内容	●	15分
	8	災害廃棄物処理の概要	●	11分
	9	被害認定調査・罹災証明書の概要	●	6分
	10	災害ケースマネジメントの概要	●	16分
	11	仮設住宅の供給の概要	●	15分
	12	災害ボランティア	●	36分
	13	被災者生活再建支援制度の概要	●	11分
		災害弔慰金・災害援護資金の概要	●	14分
	14	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	◇	15分
	15	救援物資ロジスティクス演習	◇	30分
物資の調達・輸配送				

時間	単元	分	講師	単元の概要
10:00 ～10:05	- (オリエンテーション)	10分	(事務局)	
10:05 ～10:35	【講演】 1 事例から学ぶ受援の実態と課題	30分	奥能登広域圏事務組合 事務局 佐藤 令 氏	災害時の受援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、受援の実態と課題を学ぶ。
10:35 ～11:05	【講演】 2 事例から学ぶ応援の実態と課題	30分	愛知県防災危機管理課 防災拠点推進室 原 雅有 氏	災害時の応援を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、応援の実態と課題を学ぶ。
11:05 ～11:15	- (休憩)	10分		
11:15 ～11:45	3 質疑応答	30分	進行： コーディネーター	講演への質疑応答を通じて、応援・受援の課題や対応策、取り組みへの理解を深める。
11:45 ～12:45	- (昼休み)	60分		
12:45 ～14:00	4 【エスノグラフィー演習】 災害対応過程と態度を学ぶ	75分	内閣府 派遣講師	災害時の応援を経験した自治体職員の体験談を教材として読み込み、教材から読み取った知見・教訓をグループワークで整理することで、災害発生前後の活動を確認し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。
14:00 ～14:10	- (休憩)	10分		
14:10 ～15:35	【演習】 5 受援業務における初動対応演習	85分	内閣府 派遣講師	災害発生初期期の応援要請と応援受入れのそれぞれの状況で検討する演習を通じて、応援要請や応援受入れ時の市町村の役割と、市町村による応援要請における県の役割を学ぶ。
15:35 ～15:40	- (休憩)	5分		
15:40 ～16:25	【演習】 6 全体討論 (ふりかえり)	45分	事務局	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:25 ～16:30	- (閉講)	10分	(事務局)	

コーディネーター
【プロフィール】
関西大学 社会安全学部 教授
越山 健治氏

1995年神戸大学工学部卒。1997年同修了。神戸大学助手、人と防災未来センター研究員などを経て、2010年より現職。専門は都市防災、復興計画、地域安全計画。災害による被害発生リスク評価手法の開発、社会脆弱性改善への地域社会へのアプローチ、都市空間全体のマネジメントによる災害被害軽減手法の提案などを実施している。